



兼城悦子プロ（旧姓：井上）

生年月日	1964年10月18日
出身地	東京都中野区
出身校	東洋英和女子大学
主な戦績	88年全豪、88年ウィンブルドン3回戦 80年インターハイ単優勝/83年ジャパンオープン単優勝 85年～87、89年全日本選手権単優勝

1980年代、日本の女子テニス選手が世界ツアーに挑戦する道を初めて切り拓いた名選手です。

全日本選手権は3連覇を含む4度の優勝、国際大会のジャパンオープン、ボアデングラシックで優勝しました。

1988年にはシングルスで自己最高の世界26位に。

プレイスタイルはオールラウンドで、特にスピード感のあるサーブ&ボレーには定評がありました。

1983年から89年までフェドカップ日本代表、

1990年のウィンブルドンで現役を引退しました。

2001年、2002年はフェドカップ日本代表チームの監督、現在はジュニア育成に力を注がれるとともに、

ヨネックスアドバイザーリースタッフとして、テニス振興活動を行っています。